

事務事業名		美術館運営協議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当	担当部	教育総務部	担当課	吉澤記念美術館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				組織	担当係		担当課長名	金原 隆徳
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4	文化・芸術活動の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14963	一般	10	4	7	美術館運営協議会運営事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H14年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立美術館条例					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営			
						事業分類		審議会・協議会等運営事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
美術館の諮問機関として設置した「佐野市立美術館運営協議会」を開催し、委員から美術館の運営に関しての意見や要望などを聞き、施設の運営や事業に活かしていく。協議会を年1回開催する。			美術館運営協議会開催 平成27年2月10日(火)午前10時～12時							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議開催回数	回	1	1	1	1	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
美術館運営協議会 美術館運営協議会委員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			美術館運営協議会委員数	人	10	10	10	10	10	
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂く。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			意見・助言数	件	4	4	3	3	3	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
活動の発表が積極的にいける。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			文化・芸術活動団体の登録数	団体	132	125	140	142	142	

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	69	69	69	69	69			
	事業費計(A)	千円	69	69	69	69	69			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	69	委員報酬	69	委員報酬	69	委員報酬	69
	人件費	人	3	3	3	3	3			
のべ業務時間	時間	22	22	22	22	22				
人件費計(B)	千円	86	87	87	87	87				
トータルコスト(A)+(B)	千円	155	156	156	156	156				

事務事業名	美術館運営協議会運営事業	担当部	教育総務部	担当課	吉澤記念美術館	担当係	
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成14年3月、葛生町の旧家から美術品及び建物の寄贈を受け、6月に吉澤記念美術館を開館した。それに伴い、美術館の円滑な運営を行うため、運営協議会を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市庁舎等の建設により、市の財政状況は一層厳しさが増しているため、事業費削減に努めている。そんな中で、いかに充実した展覧会を開催することができるか、今後の施策方針など、美術館の機能の充実と円滑な運営について、様々なジャンルの方々(教育関係者・美術館関係者・観光関係者等)からの多角的な助言をいただくことができている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	今後の美術館運営について、次のような意見をいただいた。 ・収蔵庫の拡張について検討されたい。 ・基金を広くPRすべきである。 ・葛生地区の文化施設の拠点として、施設の連携を図るべきである。 ・観光戦略を高めるべきである。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	美術館の運営・事業に関する意見をいただき、提言を取り入れることによって、より良い美術館運営が図れている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	各層の有識者からなる委員の意見を聞き入れることは、円滑な運営をはかっていくうえで重要なことである。仮に直営でなくなったとしても、運営に関することは根本的なことなので、美術館運営がある限り、市が行うべきことである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市内外の各層から、それぞれの目線で審議していただき、助言をいただくことを目的としているため、対象と意図は合致している。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	美術館運営協議会委員は、関係機関や学識経験者及び関係団体の代表者で構成されている。委員の資質は高く、毎回様々な意見をいただいております、すでに会議の活性化は図れている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は、年1回開催の運営協議会に伴う委員報酬であり、削減の余地はない。人件費についても必要最低限の時間に対応しており、これ以上削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	受益者負担にはそぐわない事業である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	円滑・適正な美術館運営をはかるために運営協議会は設置されている。協議会を廃止・休止した場合、美術館の運営に対する諮問機関がなくなることとなり、市民また外部からの意見の吸い上げが困難となってしまう。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					